



生成AI 比べて選ぶシート(スライド骨子編)

といのタネ

氏名: _____ 記入日: _____

探究発表のスライド骨子作りで、生成AIを2つ試して1つに決めるためのシートです。上から順に埋めると、使ったAIの記録まで1枚に残ります。

ステップ1 学校の指定と利用条件を確かめる

ここでは、使ってよいAIと、使う前の条件を書き出します。分からない行は「確認中」と書いて先へ進みます。

確認すること	確かめた先	結果
記入例: 学校が指定・案内しているAI	記入例: 情報の授業の配布資料	記入例: 学校アカウントの学習支援ソフト
学校が指定・案内しているAI		
学校が使わないよう案内しているAI		
候補のAIの年齢条件と保護者の同意		
入力内容を学習に使わない設定の有無		

ステップ2 試す候補を2つ書く

ここでは、比べるAIを2つに絞ります。学校の指定があれば候補Aに書きます。

- 候補A: _____ 型: _____
- 候補B: _____ 型: _____
- 候補Bを選んだ理由: _____

型は「学校が配布・指定したAI」「汎用の対話型AI」「検索やブラウザに組み込まれたAI」「スライド作成ソフトの生成機能」の4つから選びます。ステップ1で条件を満たせなかったAIは書きません。

ステップ3 同じプロンプトで試す

ここでは、2つの候補に同じ日に同じプロンプトを渡します。〇〇を自分の内容に置き換えます。

- > あなたは探究発表の構成を一緒に考える相手です。
- > 私の探究の問いは「〇〇」です。
- > 調べて分かったことは次の3つです。①「〇〇」②「〇〇」③「〇〇」
- > この材料だけを使って、スライド5枚分の見出し案と、各スライドに置く内容の候補を出してください。
- > 私が書いていない事実や数値は足さず、材料が足りない所には「要確認」と書いてください。
- > 最後に、聞き手が疑問に思いそうな点を3つ挙げてください。

- 試した日: _____
- 入力前の確認: ☐ 氏名を入れていない ☐ 学校名を入れていない ☐ 顔写真を入れていない

ステップ4 5つの軸で採点する

ここでは、2つの出力を並べて0～2点を付けます。軸1が0点のAIは、合計にかかわらず候補から外します。

軸	候補A	候補B	気づいたこと
記入例: 指示を守ったか	2	1	記入例: Bは材料に無い割合を足していた
1 学校の指定と利用条件			
2 入力内容の扱い			
3 指示を守ったか			
4 元資料へのたどりやすさ			
5 自分の言葉への直しやすさ			
合計			

採点の目安は、できたら2点、一部できたら1点、できなかったら0点です。合計が同じときは、学校で使える方を残します。

決めたAI: _____

ステップ5 直した見出しと使用記録を残す

ここでは、AIの見出し案を自分の言葉に直した結果と、使った記録を書きます。数値や固有名詞は、確かめた資料の欄が埋まったものだけをスライドに残します。

枚目	AIの見出し案	自分で直した見出し	確かめた資料
記入例 1	地域の空き家問題の現状	私の町の空き家は、なぜ駅の近くに多いのか	記入例: 町が公開している統計資料
1			
2			
3			
4			
5			

- 使ったツールの名称: _____
- 入力したプロンプト: _____
- 使った日付: _____
- 提出先が指定するAI利用の書き方: _____

提出前の確認

ここでは、提出の前に3つを見直します。

- ☐ 見出しは5枚とも、自分で声に出して言い直した言葉になっている
- ☐ 「要確認」の所は、調べて埋めたか、スライドから外した
- ☐ 使ったツールの名称・プロンプト・日付を、提出先の指示に合わせて書いた